（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	Waihaus

公表日　令和８年　２月　27日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		障害となるものを収納できるスペースがあるのでで、必要な時に出して遊べるようにしている。クラ間仕に別れている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	5		人員は充足し、十分な数の職員を配置できている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	3	段差等がある。死角となる場所が多いが怪我は減少傾向にある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	5		掃除を毎日丁寧に行っている。また、学習や読書の時間には玩具を片づけ学習に集中できる工夫をしている。	床材や壁紙に劣化が見られるため修繕を検討する。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		窓から様子を確認できる状況でクールダウン時に個室の利用が可能	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価票により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		職員打ち合わせを毎日行って、情報交換を密にしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		義務研修はあるが、それ以外にスキルアップの研修の機会を作って欲しい。	各種研修を受講予定。
適切な支援の提供	11	適正に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		保護者がデイロボより支援プログラムを確認できる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		デイサービスでの状況を基盤にし、保護者の方や学校からの情報も収集し、適切な支援が行えるように計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		個別支援計画作成においてスタッフと「個別支援計画検討会議」を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	5		「個別支援検討会議」においてスタッフの意見を充分に反映し、支援内容を決めているので、スタッフが十分に支援内容を理解した状況で支援を行っている。	OJTを開始している。
	15	こどもの通応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を盛まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		利用者の状況を把握し、スタッフで活動プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		外部講師の運動プログラムの日程を元に、活動が偏らないように制作活動や車回遊び等組み込んでいる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5		本人の意思を尊重し、集団活動と個別の活動を選択できる環境づくりを行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	3	オンラインツールを使用している。	支援開始前の打ち合わせは必要に応じて行っているようにする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了後はその日の振り返りや改善点を話し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		「業務日誌」に記録をし、職員で確認できるようになっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		半年に１度モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	「地域交流の機会の提供」に関しては、今後少しづつ広げていきたいと思っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定や主体力を育てるための支援を行っているか。	5		毎日の支援のゆで、こどもが自己選択、自己決定できるように意識して支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	現在行われていない。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	一部情報交換会を実施した。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		5	該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		5	現在行われていない。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5	現在行われていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	依頼に応じて参加する。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		写真付きの連絡帳を用いて、日頃の様子や課題等をやりとりできている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	現在行われていない。	令和８年度に実施予定
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		面談時に保護者様への聞き取りや事業所内会議を通して、内容を支援計画に反映している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	5		説明を行い、計画の同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		対面や連絡帳などを介して相談があった場合に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士や交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	現在行われていない。	令和８年度に開催予定。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		苦情に対して対応できるよう体制が整えられている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		アプリを用いて活動概要や行事を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		留意している。	
	44	障害のあることや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		保護者との情報のやり取りは行っている。会話での表現が難しいご利用者様には筆談等を用いてコミュニケーションを図っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	現在行われていない。	職員間で検討する。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	各マニュアルを策定している。今後発生を想定した訓練を実施予定。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		BCPを策定し、消防署と連携した訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		契約時に行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		おやつ購入時に成分表示のダブルチェックを行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を作成している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	1	4	安全計画を作成している。	保護者への周知を図る。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハットが起きた場合は速やかに事故報告書を作成し、職員周知知、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		虐待防止に関しての研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	5	該当者無し。	今後身体拘束が想定される場合計画に記載する。